

# 視覚 障害



その研究と情報

1978年 夏 No. 38

ISSN 0385-7476

# Sonett®

ソニーから新しいファミリーフラント

# SOLID FLAME

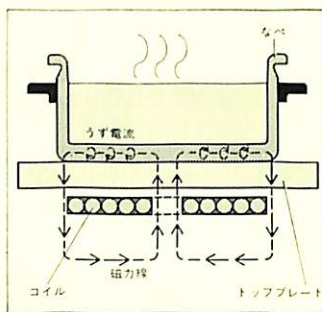


UF-1200 ¥128,000

## 料理革命。もう火はいらない。

ソニーの技術が結集した調理器具ソネット・ソリッド・フレイム

ソリッド・フレイムは全く新しい概念の調理器具なのです。電子レンジでもない、目に見えない磁力線を利用して、鍋だけに熱を伝えます。火の気がないから安全性が高い。プレートはフラットで清潔です。鍋の中身を一定の温度に保てます。効率率がよく経済的です。部屋の空気を汚さず快適です。などがソリッド・フレイムの特徴。



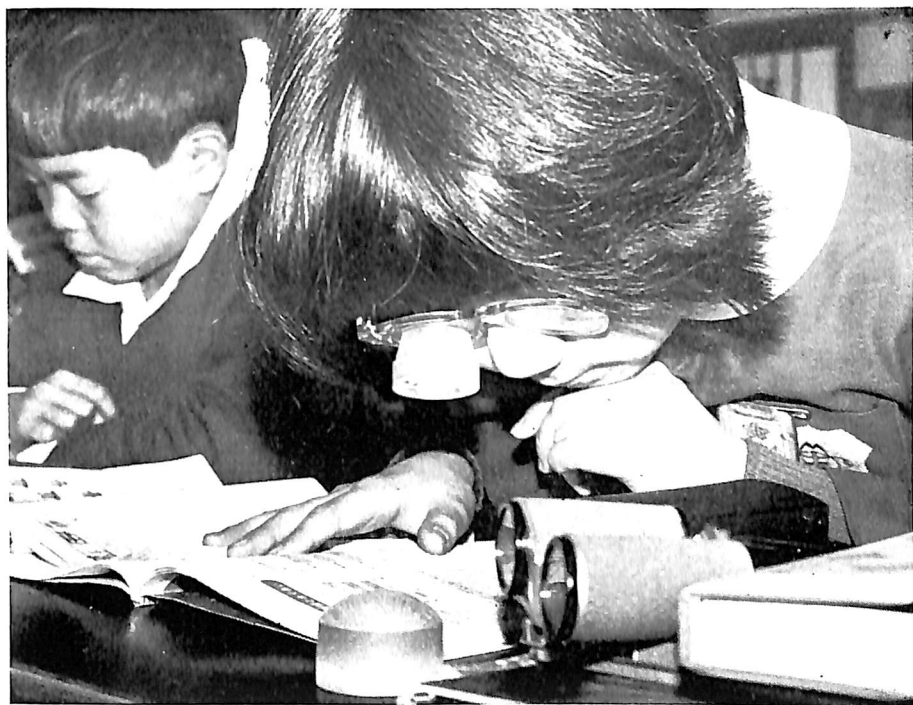
ソニーが自信をもって世に問う調理器具。その名はソネット・ソリッド・フレイム。ソニーのエレクトロニクスの技術を集結して開発されました。これは炎のない調理器具。人が何万年もの間火を使って料理をしてきたことを考えれば、革命的といっても良いほどの新製品です。

## 小学校における弱視教育

わが国における戦後最初の小学校内弱視学級が、大阪市立本田<sup>ほんてん</sup>小学校に設置されたのは、いまから15年前の昭和38年4月である。現在、同校（学校長：坂戸謙三）には1年から6年までそれぞれ1学級ずつ弱視学級が設けられており、6人の専任教師（弱視学級主任：野口幸子）のもとに、22名の弱視児が在籍している。

去る1月下旬には、第19回弱視教育研究全国大会が、大阪府立盲学校と本田小学校を会場として開催された。

このグラビアは、本田小の弱視児たちの学習のようすを紹介したものである。子どもたちはそれぞれの実態に応じて、リソースルーム（資料室）方式かあるいは協力学級方式のいずれかによる指導を受けている。



普通学級（親学級）における社会科の授業で、その時どきに応じて、種々の弱視レンズをフルに活用しながら……。

## できるかぎり一般児といっしょに



「1個の乾電池で2個の豆電球を同時に点燈させるには、導線をどのようにつないだらよいか」  
自分たちで工夫したつなぎ方やその回路図を見ながら、模型を使って発表する。弱視児も元気に手を挙げている。——3年の理科、37名中、4名が弱視児。



第19回弱視教育研究全国大会における小・中学校弱視学級部会。こ  
としの夏も行われる弱視学級の効果的な運営をめぐる「合宿研究会」  
(岡山)の打ち合わせもなされた。

4年の体育の授業——  
友だちが棒から手を離  
す。その掛け声とともに  
走ってきて、倒れかかる  
棒をすばやくつかむ。明  
るい太陽のもと、白子眼  
の子どもも遮光眼鏡をか  
けて頑張っている。

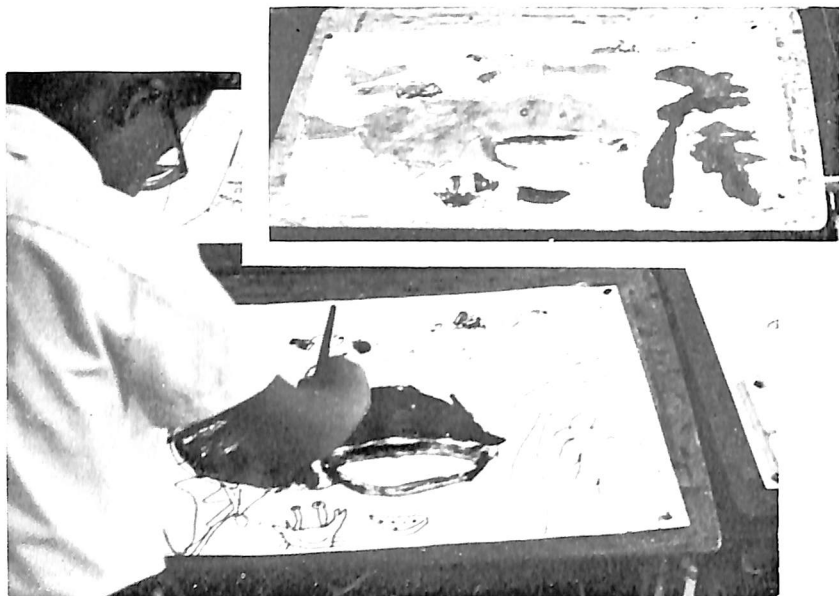


## 視力の弱さを補う特別の指導・訓練

弱視学級(1年生)における分離指導の1コマ。学校のまわりを撮影したスライドを見ながら、実際に見学してきた場所のようすを思い出し、模型を並べる。こういった弱視教室における視知覚向上訓練を普通学級における授業といかに有機的に結び付けるかは、古くてつねに新しい問題である。



弱視者用電子拡大読書器(オプチスコプCCU-C型)を使えば、弱視児にとって一般に見えにくい社会科の統計グラフなども読み取りやすくなる。この装置は、低視力児ほど効果的である。最近、カラー教材用も開発された。



「たいやきくん」のレコードを聴きながら、海の中に逃げたいやきくんを想像豊かに描くK君（1年、強度近視・眼球振盪、視力：0.15）。



にわとり

1年のS君（無虹彩・眼球振盪、視力：0.1）の絵。生きいきとした「にわとり」のようすが描かれている。

### 写真と文

国立特殊教育総合研究所・研究部長 小柳 恭治

# 目 次

1978 年 夏 No.38

---

|                              |       |    |
|------------------------------|-------|----|
| 2 ページ評論                      | 小柳 恭治 | 3  |
| 特集 これぞ統合教育                   |       |    |
| 盲高校生の統合教育の<br>実践記録           | 小嶋 孝明 | 5  |
| 中学 3 年間の統合教育<br>実践記録         | 高橋 寛  | 14 |
| 小学校 5 年間のあゆみ—矢部弘毅君の場合—       | 曲淵 信彦 | 35 |
| 普通幼稚園に就園する盲幼児の指導(最終回)        | 香川すみ子 | 51 |
| あの人この人 真澄ちゃんのお母さん—尾形久子さんに聞く— |       | 60 |
| インフォメーション・コーナー               |       | 63 |
| 内外文献                         |       | 67 |
| 編集後記                         |       | 72 |

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には  
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター  
までお問い合わせください。

## 編集後記

最近盲児の一般学校への入学が各地で実施されつつあり、障害児教育の基本的問題として話題をよんでいます。障害児教育の統合か、分化かということからは、社会とのかかわりあいにおいて、また、条件整備など決して問題は少なくはありません。この意味において、本号では盲児の統合教育を特集としてとりあげてみました。関係者みなさまのご意見をお寄せいただければ幸いです。

長い間掲載させていただきました香川すみ子先生の「普通幼稚園に就園する盲幼児の指導」は、本号をもって終わりました。先生の長い間のご協力を深く感謝いたします。この「普通幼稚園に就園する盲幼児の指導」は、東京都心身障害者福祉センターにおいて編集をした「盲乳幼児の養育指導」に収められています。センターのご協力により、同書を本会にて発刊する予定です。関係者のみなさまのご利用をおねがいいたします。

なお、本号では紙面の都合により、「先人の叡智」（その2）、「施設を訪ねて」は次号に掲載いたします。あしからずご了承下さい。  
(松井新二郎)

視 覚 障 害 1978年 夏 No.38  
年間購読料 1,500円(送料とも)

発行日 1978年7月1日

発行者 本 間 一 夫

編集者 松井 新二郎

発行所 日本盲人福祉研究会

〒532 大阪市淀川区塚本3丁目12番  
6-301

電話 (06) 309-2100

振替口座 大 阪 4 0 2 7 0

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13  
電話 (624) 6111番(代表)

協賛団体 日本点字図書館